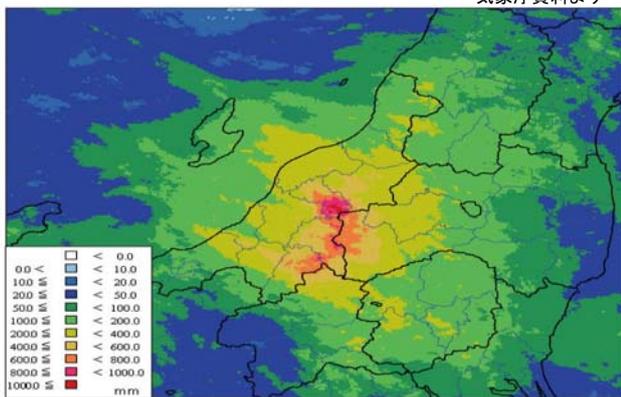


解析雨量による総降水量分布図(推定)(7月27日~30日)

気象庁資料より



新潟県三条市、福島県南会津郡只見町では、解析雨量による総降水量が、1,000ミリを超えたところがあった

平成23年7月28日から30日にかけて、上空に強い寒気を伴った前線が朝鮮半島から北陸地方を通って関東の東に停滞し、これに向かつて非常に湿った暖気が日本海側から流れ込んだ結果、大気の状態が非常に不安定になり積乱雲が発達、新潟県中越地方及び福島県会津地方を中心に1時間に100ミリ前後の猛烈な雨が降り続き、3日間で局地的に1000ミリを超過する記録的な豪雨となりました。

『平成23年7月新潟・福島豪雨への対応について』

森林整備部 治山課



山腹崩壊と氾濫河川:南会津支署管内(民有林)

これにより、新潟県や福島県の各地で堤防の決壊や河川の氾濫、山崩れが発生し、集落や農地をはじめ、道路や鉄道、電力、給水などの生活インフラに甚大な被害を与え、死者・行方不明者は合わせて6名に及び大災害となりました。

また、国有林の被害は、新潟県や福島県のみならず群馬県北部にも及び、40余りの林道路線のほか数十箇所以上で林地荒廃や治山施設への被害が生じました。



山腹崩壊:中越森林管理署管内(新潟県魚沼市)

この豪雨に対し、中越森林管理署には災害対策本部、会津森林管理署南会津支署には災害情報連絡室が設置され現地の情報収集に当たるとともに、天候の回復後には、国有林防災ボランティアの協力を得つつ、速やかに詳細な被害状況を把握するとともに2次災害防止のための土砂流出防止措置等の応急復旧工事を行いました。



被災状況調査:南会津支署管内(福島県南会津町)



ヘリ操縦士とのフライト前のミーティング



民有林で発生した土砂ダム:新潟県三条市

は、一方、関東森林管理局において、天候の回復後直ちに実施したヘリコプターによる広範な被害状況調査では、民有林内に土砂ダム（河道閉塞）を発見し関係自治体（河道閉塞）を、民有林を含めた流通全体の被害状況の速やかな把握及び関係自治体との円滑な情報共有に努めました。

また、これらの林地荒廃等の箇所については、今後の降雨等により、荒廃の拡大や更なる土砂流出のおそれがあることから、速やかに、災害復旧事業を実施するための復旧計画の策定及び予算申請等の手続きが進められました。



ヘリ内部



応急復旧措置:利根沼田森林管理署管内 (群馬県みなかみ町)

これらの被災地域では、現在も新潟と福島を結ぶ重要路線であるJR只見線が一部不通のままとなっているなど、豪雨の痛ましい爪痕が未だ各地に残されている状況ですが、関東森林管理局においては、地域の安全で安心な生活が一日でも早く取り戻せるよう、豪雪地帯にあつて工期短縮を図るためのコンクリートブロック工法の採用など、本格復旧に向けた治山等の工事に鋭意、取り組んでいるところです。



コンクリートブロック製造ヤード: 同右



復旧治山工事:中越森林管理署管内 (新潟県魚沼市)